

祇園をどり

主催 祇園東歌舞会
後援 京都府・京都市・公益社団法人 京都市観光協会
公益財団法人 京都文化交流コンベンションセンター
京都商工会議所
京都伝統伎芸振興財団

佳辰祝礼五節句

季節の節目を祓い清める日本の風習「節句」。

折々の植物を用いて健康長寿、立身出世といった願いを

祈念する日本文化です。一月から十一月までの奇数月に行われる

五つの節句——七草、桃の節句、鯉のぼり、七夕、菊の節句——

それぞれに因んだ景をとおして一年を一巡り、

美しい日本の四季を辿る構成となっております。

監修 藤間 紋寿郎
演出 藤間 涼太郎
振付 藤間 涼太郎
脚本・構成 塩田 律
企画 祇園東歌舞会

作曲 清元 菊輔
作詞 柘屋 勝緑
作調 藤舎 名生
作調 中村 寿鶴

第一景 七草

一月七日。

この日にいただく七草粥の叩き歌がモチーフです。

第二景 桃の節句

三月三日。上巳の節句。

白酒に浮かんだ桃の花はお酒に酔って一踊り。

第三景 鯉の滝登り

五月五日。端午の節句。登竜門＝鯉のぼりのいわれ。

二匹の鯉は難関の竜門の滝を上つて竜と化し、

恵みの雨をもたらし天へ駆けあがります。

第四景 七夕

七月七日。七夕祭りの夜。

芸妓は良い仲のお客様を待っています。

軒端の笹飾りに書いた願い事は何だったのか。

知るのと一緒に飾られているお隣の瓢箪のみです。

第五景 菊の節句

九月九日。重陽の節句。美しく咲いた菊の様々。

着せ綿に移した香りで長寿を祝う習わしを

舞妓の舞踊で表現いたします。

フィナーレ 祇園東小唄

祇園東界隈の四季の移ろいと名所を美しく唄い上げて
芸妓・舞妓全員で華々しく舞いフィナーレを迎えます。